

このページは「LARPに興味があるけど、どうやって遊ぶか分からないし、何を準備したらいいかも分からないから不安……」という人向けの解説ページです。  
LARPに参加するのは初めてだったり、慣れていない人は是非ご一読ください。

## ・ LARPとは？

Live Action Role Playingの略称です。ラープ、と発音します。

LARPとは参加者各自が「架空のキャラクター」になりきり、演技（ロール）で振る舞いながら没入して楽しむ体験型の娯楽です。大人の本気の「ごっこ遊び」と言えます。

ファンタジー、スチームパンク、ミステリー、ホロコーストなどの様々な世界観が存在します。

シナリオに従って物語を楽しむ、与えられた試練や謎を解く、戦闘を体験する、交流やおしゃべりを楽しむ、など様々な遊び方があり、一口にLARPと言っても企画や団体により内容は実に様々です。

遊んでみたいイベントや、無理なく入れそうなイベントを企画している団体を探してみましょう。

## ・ LARPで必要なものは？

まずはキャラクターを考えましょう。

キャラクターは、架空の世界での自分自身。無理なく振る舞えるように、最初のうちは素の自分に近い性格や設定をするといいでしょう。

決めておくの良い部分は、

- ・ 名前
- ・ 性別
- ・ 年齢
- ・ 種族
- ・ 出身
- ・ 性格

などです。

名前だけは、他の人があなたに呼びかけられなくて困ってしまいますので、なるべく決めておきましょう。

名前以外の項目はあくまで、自分がキャラクターとして行動するために指針となる程度のもので、きっちりと決める必要はありませんし、見た目と年齢や性別などがかけ離れていても構いません。

例えば、見た目は男性でも実は男装の麗人かも知れませんか、見た目はヒゲが生えていても麗若きドワーフの乙女かも知れません。  
見た目は若いですが実はン百歳、見た目は年寄りでも種族の中では若い方……なんてことも、長命の種族には良くあることです。

イベントによっては世界観に合わせて「和風NG」「西洋風NG」などの制限がある場合もあります。

例えば、中世ファンタジーの世界にバリバリの未来兵器を扱うロボットが入ってきたり、大正時代の日本が舞台なのに平安時代の十二単を来た貴族が入ってきたら、困りますよね。

要項をよく確認して、キャラクターを設定しましょう。

もし自分の持ち込みたいキャラクターの設定がイベントに合うか心配な場合、主催者や運営団体に問い合わせてみましょう。

### ・LARPは参加者も主催者も全員で世界を作り、楽しむもの

もちろん貴方も主役の一人ですが、他の参加者も皆それぞれが主役であり、自分一人が目立つための遊びではありません。自分が主役になりたいならば、他の人が主役の時は快く名脇役になることも必要です。

「〇〇の王」「最強の〇〇」「〇〇においては右に出るものがない」などの設定は控えめに。設定に凝りたい人はいくらでも細かく決めて大丈夫ですが、その設定を他の人に強制してはいけません。

そういう設定のキャラクターだからと言って、やたらと偉そうに振舞ったり、聞かれてもいない設定をべらべらと自慢したり、高圧的な態度で接するのは避けましょう。相手はあなたの設定を知りませんし、あなただって相手の設定を知りませんよね。

いくら架空の世界とは言え、そこにいるのは皆、心を持ったキャラクターなので。お互い、相手が不愉快にならないように心がけましょう。

それに……本当に偉い立場、強い実力を持つ人ほど、それをひけらかすことなく身分を隠して楽しんだり、謙虚に過ごしているものですよ。

### ・演技（ロール）って必要？

演技（ロール）は、そのキャラクターとしての振舞いや態度です。

挨拶をされた場面ひとつ取っても、陽気なキャラクターなら返事も陽気に、クールなキャラクターなら無愛想に一言だけ、無口なキャラクターなら無言でお辞儀を返す、など、設定された各々の性格によって、反応も様々なものになります。

LARPに慣れていない最初のうちは、もしロールに困ってしまったら、「このキャラクターならどうするかな」と考えて喋ったり動いたりしましょう。古風な口調で喋る、クールでキザったらしい台詞を多用する、大袈裟でオーバーな身振りをするなど、ロールの方針は人それぞれです。自分に合ったロールを見つけていきましょう。

何かを話しかけられて、咄嗟に上手く返事ができないこと、現実の世界だって良くありますよね。まして、キャラクターとしての言動なんて、最初のうちは上手くできなくて当然です。

人によっては演技が苦手だったり、恥ずかしかったりする場合があります。そういう人は、キャラクターの性格や設定を現実の自分と同じか、あるいは限りなく近いものにしておくと良いでしょう。

### ・さらに没入して楽しむために

LARPの楽しさの一つに、衣装があります。

お祭りに浴衣で出かけるように、パーティでドレスアップするように、LARPでも見た目からキャラクターになりきることで、より臨場感が増したり、恥ずかしさも薄れたりします。

衣装に凝りたい人は、古着屋さんなどでそれっぽい服を揃えたり、量販店でハロウィン用の衣装を買ったり、ウィッグを被ったり付け耳や付け角をしたり、特殊なメイクやカラーコンタクトなどで雰囲気を出すなど、色々なパターンがあります。

LARP向けの衣装や装備品、アクセサリなどを取り扱っている作家さんもありますし、自作してしまう人だっています。素敵な衣装を着ている人に「それどこで買ったんですか?」「どうやって作るんですか?」と尋ねてみたり、色々と検索して探してみてもいいでしょう。

しかし、無理して衣装を揃える必要はありません。TシャツGパンに布を一枚羽織っただけでも、あなたは立派なキャラクターなのです。

また、現代日本を舞台にしていたり、最近流行りの異世界転生モノのように普段着のまま参加できるイベントもあります。

最初から衣装を用意するのはハードルが高いな、と思ったら、まずは普段着で参加してみて、自分もマントを着てみたい、カッコいい魔法の杖が欲しい、と思ったら、無理せずに少しずつ衣装を揃えていきましょう。大丈夫、誰だって冒険の最初の頃は、装備品なんて木の枝やおナベのフタくらいなものです。

### ・最後に

分からないことがあったら、主催者でも、運営団体でも、あるいは周りにいるLARP経験者の人にでも、なんでも聞いてみましょう。色々と快く教えてくれますよ。自分の好きなことに興味を持ってくれる人がいたら、大体の人は張り切って布教したくなるものです。お節介すぎてちょっとウザいくらいかも知れません。

久遠堂とアビソミアは、初心者の方を大歓迎しています。  
さあ勇気を出して……一歩踏み出せば、そこは新しい世界です。  
ようこそ、LARP沼へ。